

年間授業計画（令和5年度）

東京都立 東 高等学校

科目（単位数）	子どもの発達と保育 (2 単位)			
対象学年・（組・コース）	3 学年 (自由選択)			
使用教科書（出版社）	子どもの発達と保育（実教出版）			
学期	学習内容	学習の目標・留意点	学習活動（具体的に） 「読解力」「言語力」 「論理的思考能力」の育成	
1 学期 (2 6) 時間	前半	<p>1 節 発達と乳幼児期の意義</p> <p>1 子どもの発達</p> <p>2 乳幼児期の特徴</p> <p>2 節 発達と保育環境</p> <p>1 発達と保育環境のかかわり</p> <p>2 保育環境を整える</p> <p>3 節 児童観と発達観</p> <p>1 児童観・発達観とは</p> <p>2 こんにちの児童観・発達観</p> <p>1 節 子どもの発育</p> <p>1 胎児の発育・発達</p> <p>2 乳幼児の身体的特徴</p> <p>3 乳幼児の生理的特徴</p> <p>4 発育の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに関心を持ち、乳幼児期の意義について理解する。 ・子どもの発達と保育環境のかかわりについて知り、保育環境を整えることの重要性について思考を深める。 ・児童観、発達観の変遷について理解する。 ・生命の誕生に関心を持ち、乳幼児の身体的特徴と生理的特徴についての知識を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の発達に関心を持ち、乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であり、大人による養護が欠かせないことを確認する。 ・子どもの育ちは遺伝要因と環境要因に影響されることを知る。 ・子どもの発達に大きな影響を与える保育の環境や子どもへの接し方、保育環境の整え方について考える。 ・児童観と発達観の変遷を知り、子どもの人権が保障されるようになった経緯を知る。 ・胎児の発育経過を知り、生命誕生にかかわる母体環境の重要性を理解する。 ・乳幼児の身体の発育過程と生理的特徴を知る。
	後半	<p>2 節 子どもの精神発達</p> <p>1 運動機能と感覚機能の発達</p> <p>2 知的発達</p> <p>3 言葉の発達</p> <p>4 情緒の発達</p> <p>3 節 人間関係の発達</p> <p>1 愛着関係の形成</p> <p>2 人間関係の広がり</p> <p>3 子どもの人格形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの精神発達の特徴を学び、乳幼児期が人格形成上大切な時期であることを理解する。 ・人間関係の発達と子どもの人格形成について思考を深めるとともに、反抗期や子どもの行動の特徴を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動機能や感覚機能、知的能力、言語機能、情緒など様々な側面から、子どもの心の発達をとらえる。 ・子どもの発達を促す玩具の製作を行う。 ・心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係のひろがりについて考える。 ・反抗期の子どもの行動を理解し、反抗期の子どもに対する養育態度を考える。 ・保育の意味や人間形成にどのようにかわるかを考える。

2 学 期 (2 8) 時 間	前半	<p>1節 保育の意義と重要性</p> <p>1 保育とは</p> <p>2 人間形成と保育</p> <p>2節 家庭保育と集団保育</p> <p>1 家庭保育</p> <p>2 集団保育</p> <p>3節 保育の方法</p> <p>1 保育者の役割とは</p> <p>2 指導のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の意義と重要性に関心を持つ。 ・家庭保育と集団保育のそれぞれの特徴や役割を知り、子どもの発達に両方が必要であることを理解する。 ・保育環境の変化を確認し、今後の保育の課題を考える。 ・保育実習を通して、子どもと適切にかかわる技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親の子どもへのかかわり方を考える。 ・集団保育の意義と形態、保育内容を知る。 ・子どもや家庭を取り巻く状況の変化を確認し、いま求められている保育がどのようなものかを考える。 ・保育者に求められる役割と指導のポイントを知る。 ・子どもと触れ合う実習を行う。
	後半	<p>1節 生活と養護</p> <p>1 生活と健康</p> <p>2 栄養と食事</p> <p>3 食習慣の形成</p> <p>4 衣生活と育児用品</p> <p>2節 子どもの遊び</p> <p>1 生活と遊び</p> <p>2 遊びの援助</p> <p>3節 生活習慣の形成</p> <p>1 生活習慣の意義</p> <p>2 基本的な生活習慣</p> <p>3 社会的な生活習慣</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活に関心を持ち、乳幼児の生活の特徴から、健康を保持増進し順調な成長を促すうえで、発育や発達に応じた養護が必要なことを理解する。 ・子どもの食生活が発育や発達に大きな及ぼす影響及ぼすことを理解する。 ・子どもの衣生活と育児用品について、身体特徴をふまえ、安全で快適に生活するために何が必要か選択できる。 ・子どもは遊びを通して発達することを理解し、遊びの援助ができるようにする。 ・基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の生活リズムを把握し、子どもが心身の健康を保つためには養育者の働きかけや配慮が重要であることを理解する。 ・乳幼児期の栄養や食事の特徴を知る。 ・乳汁栄養の種類がわかり、状況にあった栄養の与え方を考える。 ・離乳食の意義と過程を理解する。 ・幼児の食事の特徴を知り、幼児の食事献立を考えて弁当を作る。 ・子ども服や育児用品を観察し、安全性や機能性、実用性などを調べる。 ・子どもの遊びの意義について考える。 <p>子どもの発達に合わせた玩具を選び、使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びにおける保育者からの働きかけを考える。 ・乳幼児期に身につけるべき生活習慣と親の影響について考える。

<p style="text-align: center;">3 学期 (1 6) 時間</p>	<p>4節 健康管理と事故防止</p> <p>1 日常の健康管理</p> <p>2 病気の看病と予防</p> <p>3 事故の防止と応急処置</p> <p>1節 子どもの福祉</p> <p>1 児童福祉の理念</p> <p>2 児童福祉に関する法律</p> <p>3 児童福祉のための機関・施設</p> <p>2節 子育て支援</p> <p>1 社会的支援の必要性</p> <p>2 児童虐待とその予防</p> <p>3 これからの子育て支援</p> <p>4 子育て支援の課題</p>	<p>・子どもの健康を守るための保育者の役割と子どもの病気の特徴を知り、予防の必要性を理解する。</p> <p>・子どもの事故の特徴を知り、事故防止と安全教育にかかわろうとする意欲を育てる。</p> <p>・子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について理解する。</p> <p>・子育て支援の意義と現状を理解し、今後の課題と展望を考える。</p>	<p>・子どもの健康状態を見るときのポイントや病気の特徴、予防接種について確認する。</p> <p>・子どもの事故の特徴を知り、対策を考える。</p> <p>・児童憲章を通して子どもの幸せとは何かを考える。</p> <p>・子どもに関する法律や制度を知り、施策や施設の現状を把握する。</p> <p>・子育て家庭の現状を考える。</p> <p>・児童虐待の現状と対策について考える。</p> <p>・子どもが健全に育つために必要な支援を考える。</p>
--	---	---	--

評価の観点・視点

出席状況、考査の成績、提出物、授業への意欲、態度を総合的に判断して評価する。